



職員表彰



令和4年度「文化の日」千葉県知事表彰



山口裕美

社会福祉法人銚子市社会福祉事業団
永年勤続表彰（20年勤続）



山口真貴子 勝山茂智 鈴木伸子

一般社団法人千葉県高齢者福祉施設協会
令和4年度高齢者福祉事業功労者表彰



椎名克至 田中幹子 永井香織 鈴木庄英

社会福祉法人全国社会福祉事業団協議会
20年勤続表彰



山口真貴子 勝山茂智 伊勢和枝 宮内友子

ケアマネジメントハウス松籟の丘

理念

Always be yourself
～いつまでも あなたらしく～

介護が必要な状態になっても
「あなたらしい暮らしを
いつまでも続けられるようにお手伝いしたい」
という思いを込めて理念を掲げました



磯部淳子 牧野輝美 信田幸子

私たちケアマネジャーは、介護にお困りの方からの相談を受け、希望に沿った居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、利用者の在宅支援を行なっています。サービス事業者や関係機関との連絡調整をしたり、状況にあった適切なサービスが受けられるようにお手伝いさせていただきます。気軽に何でもご相談ください。お待ちしております。

松籟の丘だより

発行 令和4年11月（第18号）

発行者 特別養護老人ホーム 松籟の丘

～松籟の丘10周年記念号～



施設長あいさつ



平成24年10月1日に外川園から松籟の丘へ生まれ変わり、10周年を迎えることができました。ご家族様、地域の方々やボランティアの皆様など沢山の方々に温かく支えていただき、節目の年を迎えることができましたこと、心から感謝を申し上げます。

思い起こせば10年前、野尻町に松籟の丘は誕生しました。老朽化した施設から、建物だけが新しくなってはいけないと「ここで暮らしてよかった そう思っただけの支援を目指します」という理念を掲げ、職員一丸となって取り組んでまいりました。

平成29年4月、熱い思いで私達を導いて下さった安重千恵子初代施設長から、私はバトンを引き継ぎ、ただ前だけを見て無我夢中に走ってきたように思います。

設立から10年が過ぎた今、年号は平成から令和に代わり、新型コロナウイルス感染症の影響で、当たり前だった生活習慣が大きく変わり、人との距離が遠のき、叶わないことも増えました。人手不足を解消するかの様々なロボット化やIT化等、時代は想像を超えて変化していますが、私達は、変わる事のない「人と心の関わり」を大切に、揺るぎない理念のもと、駆け足の10年から、この先は、落ち着いて一歩ずつしっかり歩いていけたらと思っています。

「ここで暮らしてよかった」と心から思っただけますように、そして、松籟の丘があることで、地域の皆様が安心して歳を重ねていけますように、継続を力にして、これからも精進してまいります。

特別養護老人ホーム松籟の丘
施設長 鈴木真理子

make new changes ～外川園から松籟の丘へ 私達が取り組んだ変革～

【集団ケアからの脱却 → 個別ケアへ】

- ・1フロアを2つに分けて介護単位・食堂の細分化（従来型 4グループ・食堂4ヶ所）
- ・グループ・ユニット毎に職員を固定配置（馴染みの関係性を重視）
- ・職員のスキルアップ（介護福祉士国家資格取得推進 取得率：H22年度26% → R3年度83%）
- ・職員の意識改革（様々な講師を招いて職員研修を実施）

【施設 → 暮らしの場へ】

- ・業務日課（一斉一律の流れ）廃止
- ・職員制服の廃止
- ・身体拘束（ベッド4点柵）の廃止

～暮らしを支える支援のコンセプト～

- ・食 事 美味しく楽しく、その方のペースで
- ・入 浴 その方の好みで、気持ち良く清潔保持
- ・排 せ つ 可能な限りトイレで、個々のサイクルに基づいた個別排せつ
- ・機能訓練 日常生活の動作の中で、無理強いをせずに機能維持
- ・アクティビティ 暮らしの中に楽しみと生きがいを／季節を感じて、地域と共に

理念の実現に向けて
頑張るぞ!!

ここで働いて
よかった!!



理事長 ごあいさつ



松籟の丘だより10周年特別号の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
 平成26年11月から7年7か月にわたり当事業団の理事長を務められました金塚英治理事長に代わり、本年6月24日から理事長に就任いたしました。
 松籟の丘開設10年の節目に重責を担うことになり、責任の重さを痛感していますが皆様のご支援・ご協力をいただき、活力ある施設運営に努めてまいります。
 さて、松籟の丘の開設は、当事業団にとりまして大きな転換期でありました。野尻への移転新築にあたっては、活動拠点が変わることに加え、公設民営から独立した運営体制に変更し、自らが施設を建設、経営していくことになったのです。

まさにゼロからのスタートでしたが、当時の役員・職員の方々の熱意、たゆまぬ努力により、安定した基盤を築いていくことができました。野尻地区の皆様からも温かく迎えられ、今も支えていただいております。改めて、多くの関係者の方々にご支援、ご協力いただいておりますことに感謝申し上げる次第です。

今後、事業団としても地域に根ざす社会福祉法人としてより信頼され、地域福祉に求められる期待にお応えできるよう努力を重ねていきたいと思っております。

これからもご支援とご協力の程よろしくお祈り申し上げます。

社会福祉法人 銚子市社会福祉事業団
 理事長 笹本 博史

新規採用職員 紹介



五十嵐 伸光
副施設長



並木 雅典
生活相談員



白土 由美
機能訓練指導員



青柳 一明
業務員



小林 望
介護員



溝口 寛子
機能訓練指導員



諏訪 未来
介護員



石毛 雅子
業務員



大木 ひまり
介護員



石毛 鈴子
介護員



檜山 祐克
介護員



福井 良太
介護員

各フロアからの発信

1 階

1グループでは今年の夏にトマトの栽培を行いました。毎日、トマトの成長を楽しみに、収穫の時期を待っていました。沢山採れたトマトは、皆で美味しくいただきました。

1グループは、あちらこちらで歌声から自然に合唱が始まり、いつも明るくにぎやかで活気に溢れています。

2グループは、個々の趣味や生きがい、習慣等を大切にしています。ラジオ体操やぬり絵、折り紙、習字や洗濯物畳み等、様々な活動を継続できるように工夫しています。

入所前は意思表示をすることのなかった方が、先日、自らの手でご家族に宛てて手紙を書かれ、その手紙と笑顔の写真に家族より、感激したとのお返事をいただきました。心温まるエピソードは職員冥利に尽きます(^^)/



2 階

2階は、「美味しいものを食べて笑顔になろう」をコンセプトに食に関するイベントを意欲的に企画しています。

入所者のリクエストに応じて、銚子の老舗、大久保寿司や茂利戸家の出前やココスのピザをテイクアウトし、手作りおやつでは、お好み焼きやパンケーキ、サンドイッチ等々も行いました。

10月には、初めて15種類のパンを用意し、パンバイキングを行いました。

予想以上に好評で自分で選んだ好みのパンをお皿に乗せて召し上がりました。



3 階



3階ユニットでは、食のアクティビティーとイベントの企画に力を入れています。食のアクティビティーでは季節を感じて、夏はかき氷を、入居者のリクエストで手作りサンドイッチパーティーも開きました。また、癒しを感じていただくよう「ドッグカフェ」を開き、気分転換をされました。犬を飼っていた方からは「懐かしい!またやってね」との声が聞こえました。

